

こころネット 近況レポート



感動のある人生を。

こころネットグループ

2026年3月期

第1四半期号

- 売上高は減収、最終利益は増益

- 第5次中期経営計画を発表

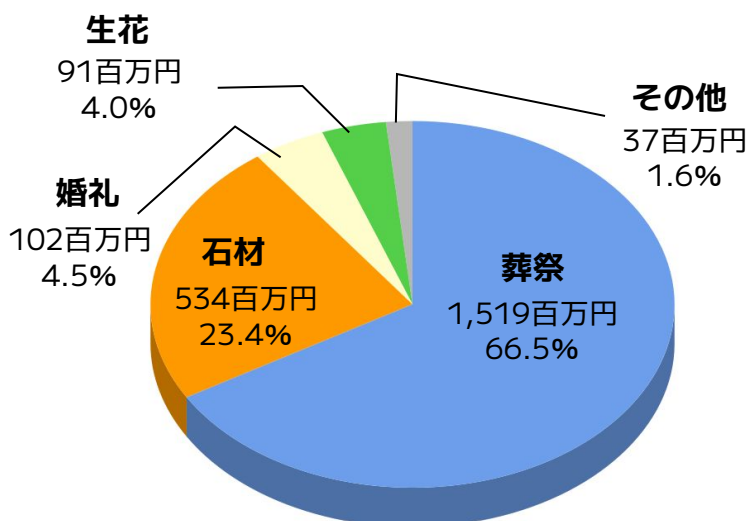
- 第59回定時株主総会開催

第1四半期の売上高は2,285百万円、営業利益は114百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は192百万円となり、前年同期比で減収増益となりました。

売上高は、葬祭事業で増収、その他の各事業は大幅な減収となりました。収益面は、売上高減少に伴い仕入高が減少しましたが、葬祭会館の増加に伴う経費や従業員の賃金ベースアップ、広告宣伝の強化等により、経費圧縮には至りませんでした。一方で、特別利益として、持分法適用関連会社の株式売却により関係会社株式売却益を計上し、最終利益は大幅な増益に転じました。

第5次中期経営計画の取組みとしては、葬祭会館1施設の開設と葬祭会館1施設の開設準備を進めたほか、グループ再編の検討、データ活用の整備、株主総会後の懇談会を再開し株主との対話機会を設ける等、各重点施策を推し進めました。

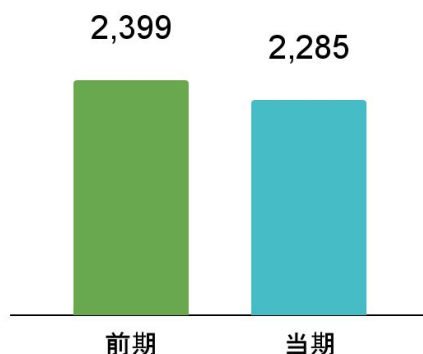
《セグメント別売上高構成比》



※その他は、互助会事業、装販部門等で構成されております。

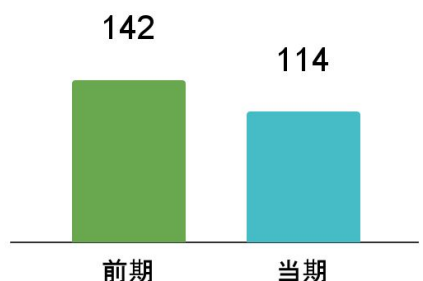
売上高

(単位:百万円)



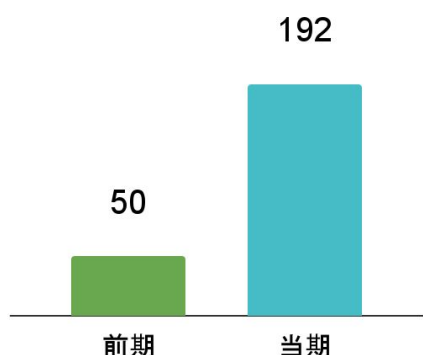
営業利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位:百万円)



第5次中期経営計画を公表

基本方針

グループ改革で、成長を加速

資本投下

人的資本
製造資本
知的資本
社会関係資本
自然資本

重点施策

グループの 抜本改革

- グループ再編と執行体制整備
- 不採算事業の抜本的見直し

シナジーの 極大化

- 葬祭事業を核とした事業展開
- 事業の垣根を超えた事業モデル構築

ステーク ホルダー との関係強化

- 株主資本を意識した経営の実現
- ステークホルダーとの対話充実

財務目標

連結売上高
13,000百万円

連結経常利益
1,300百万円

ROE
8.5%

非財務目標

女性管理職比率
30.5%

障がい者雇用率
2.5%

HV・EV・FCV率
38.0%

ほか

「第5次中期経営計画」（2026年3月期～2028年3月期）を発表しました。同計画では、「2030年ビジョン」の実現に向けた基本方針、重点施策及び事業別施策を示すとともに、収益力・資本効率等に関する財務目標、サステナビリティ等に関する非財務目標を掲示しました。当社の事業環境の変化を踏まえ、事業ポートフォリオの見直しによる葬祭事業への資源集中を図るほか、設備投資に加え人的資本への投資も拡充させてまいります。

葬祭会館の新設等

第59回定時株主総会開催



重点施策である「シナジーの極大化」として、葬祭事業を核とした事業展開を推し進めるにあたり、2025年5月に「とわノイエ 大森」（福島県福島市）を開設し、また、2025年9月のオープンに向けて「とわノイエ 泉」（福島県福島市）の開設準備を進めました。



2025年6月25日、第59回定時株主総会を開催しました。「剰余金処分の件」「定款一部変更の件」「取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名選任の件」「監査等委員である取締役3名選任の件」の4議案がすべて承認可決されました。

今後、更に透明性が高いガバナンス体制を構築し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図ってまいります。